

伝統的な祭や文化の継承

多彩なイベントで日々の暮らしの楽しみが広がります。

苅田町には、四季を彩る祭や行事など多彩なイベントがあり、日々の暮らしに華を添えてくれます。

また、町内には古墳や歴史遺産も数多く点在しており街を歩けば時代の息吹が感じられます。

イベント



苅田山笠 (開催時期/10月の第1日曜日)
鉦や太鼓の響くなか、勇壮・華麗な山車14基が町内を練り歩きます。山車同士がぶつかり合うため「けんか山笠」の異名も持ち、県の無形民俗文化財に指定されています。



かんだ港まつり (開催時期/5月中旬)
苅田港の発展を願って開かれ、花火大会やステージでの催しなどが行われ、毎年大勢の人出で賑わっています。



等覚寺松会 (開催時期/4月の第3日曜日)
かつて山伏の修験の場として栄えた等覚寺地区に約千年も伝わる山伏の祭典で、国の重要無形民俗文化財に指定されています。特に幣切り行事は全国でもここにしか残っていない貴重なものです。



森のコンサート (開催時期/10月中旬)
等覚寺松会の舞台となる白山多賀神社境内で催される演奏会、美しい調べに森の木霊も踊ります。

その他のイベント

どんど焼き (2月12日)
御所山古墳の上にある白庭神社で行われます。当日は、境内で燃盛る炎にしめ飾りや古いお札をくべて、無病息災を祈ります。

盆踊り大会 (8月28日)
苅田町役場前で開催され、伝承口説きを特徴とし、毎年大勢の人出で賑わっています。

秋満喫祭 (10月中旬)
町西南部の白川片島地区で開催されるイベントであり、多彩な催しや花火大会などが行われます。

文化祭 (11月初旬)
秋には、町民文化祭や西日本工業大学、北九州保育専門学校、苅田工業高校などの学園祭が催されます。

伝統・文化・歴史



石塚山古墳 (国指定史跡)
九州最大級の前方後円墳で、現存する出土品は三角縁神獣鏡7面、素環頭大刀片、銅鏃があり、国の重要文化財に指定されています。



御所山古墳 (国指定史跡)
大型の前方後円墳で、周濠をもち、北部九州屈指の規模を誇っています。



薬師如来坐像
相円寺(内尾薬師)に安置されている、3m近い巨大仏で、「丈六仏」とみられています。材は檜の寄木作りで、平安時代末の12世紀前半頃に作られたと推測されています。福岡県指定彫刻。



松山城址
740年に藤原広嗣によって築城されたといわれています。中世・戦国時代には、豊後の大友氏と周防の大内氏の間で、激しい城の争奪戦が繰り返されました。本丸に続く石段が現存しています。1606年、廃城。



平清経塚
平家物語で、源平合戦の折、入水して自ら命を絶ったと伝えられる平清経(平清盛の孫、重盛の三男)が葬られたとされる石塔群。



郡界石・里程標
苅田町には、中津街道が南北に縦断しており、江戸時代には宿場がありました。旧企救郡(現小倉南区)と京都郡の境にたつ郡界石や里程標は、往時の街道の姿を今に伝えています。

